農地法や許認可で作成する地図電子化となった現在様々なツールを使いわかりやすく、効率的に 資料を作成しましょう

公図データを活用し 様々な資料の作成方法を

エクセル を使って 簡単に説明しています





地図作成のコツ県南支部

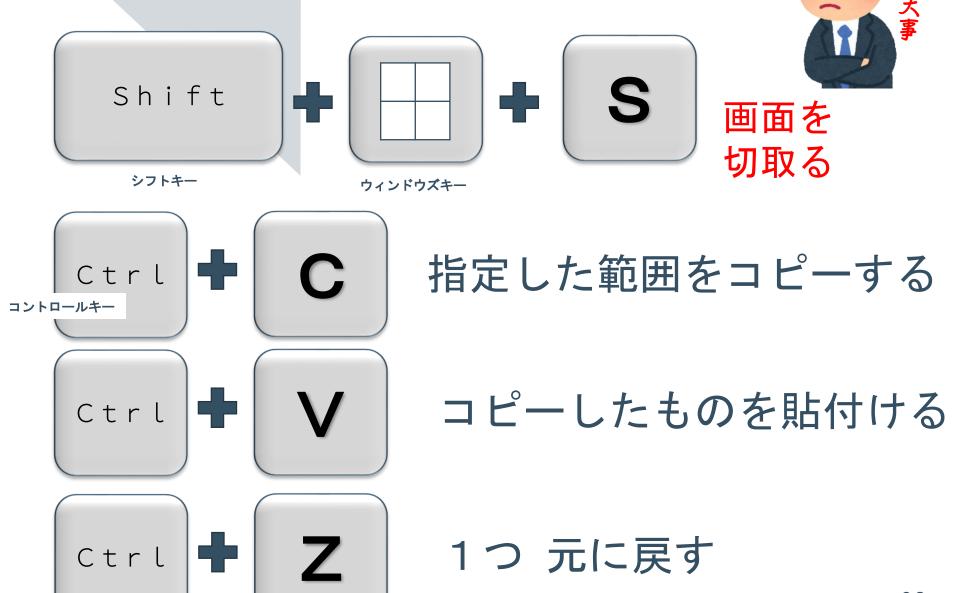
2025/10/06

# 地図や図面の作成は、行政書士業務にとってとても大切なスキルです

平面図	平面図とは、建物を水平方向に切った時の図面であり、上から見 た投影図
	線のみで、上から見た状態を分かりやすく表した図
周辺図	具体的には、方位、周辺道路、近隣の建物や公共施設、最寄り駅 などが記載されており、建築確認申請などで必要とされる重要な 図面
	周りの土地が、どのような地目となっているかを表した図
位置図	位置図とは、特定の地点や地域の位置を示した図で、地図の一部 として使われることが多いです。
	どこに点在しているのか、特定できる図
案内図	案内図とは、特定の場所や目的地への道筋を示す地図
	目的地までの、距離、時間、工程が把握できる図。
計画図	計画図とは、設計の初期段階で作成される図面で、全体の構想や 概要を伝えるために使用

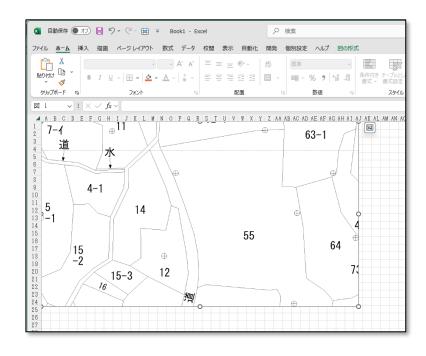
図面等の作成は農地転用、許認可(営業許可等)など、多岐にわたります。さまざまな資料の作成に活用しましょう。

基本操作:ショートカットを覚えましょう



## 土地の公図から必要となる地図を作成しましょう

- 1 エクセルを立ち上げます。 シートの全セルを 幅:2.00(21ピクセル)にすると良いです
- 2 公図で目的の土地の周辺を含めてパソコン画面に表示します
- 3 **Shift + W + S** を押すと画面がグレーに変化します 切り取りたい部分を、左上から右下へドラックします
- 4 エクセルを選んでコントロール+Vで貼り付けます 貼付けた画像は、左上に揃えてください



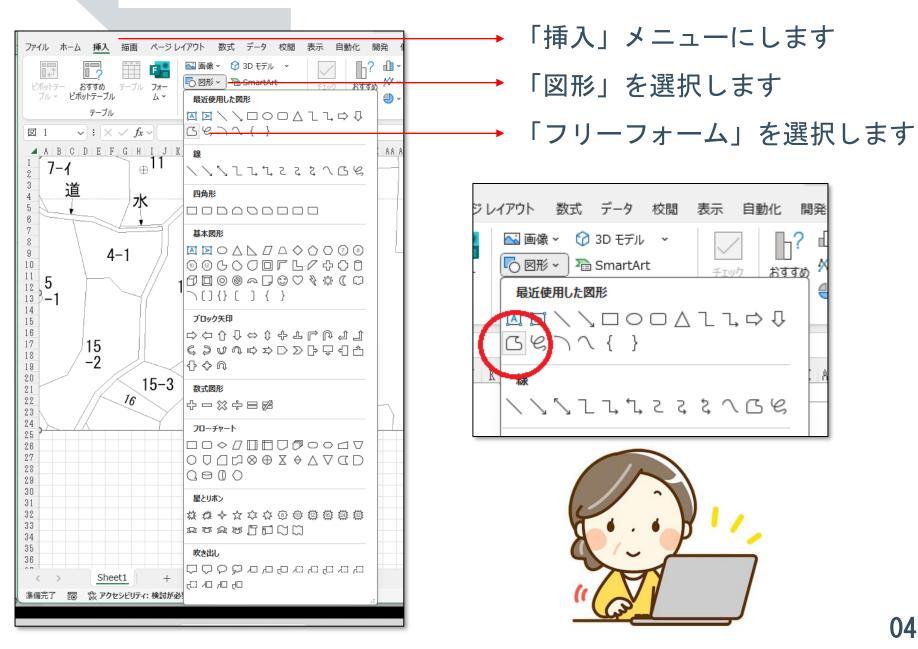
#### 注意

パソコンの画面に地図を映すとは

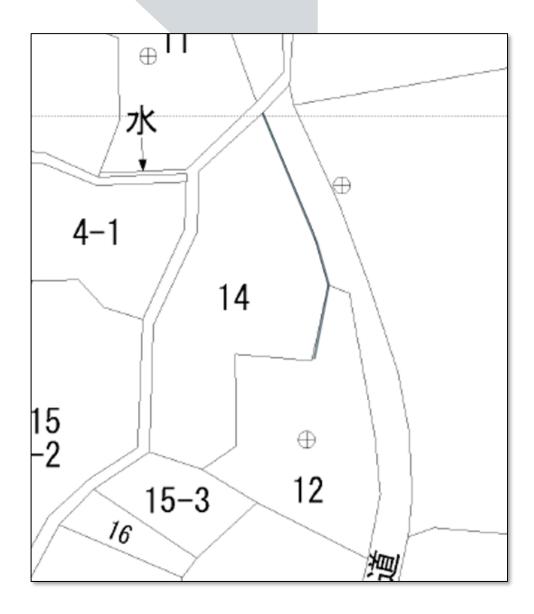
- → 画像で表示する
- → PDFで表示する 等どちらでもOK

必要に応じた縮尺にして、画面切取りをします

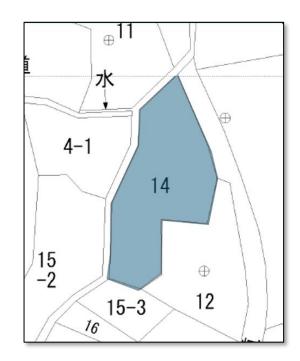
# エクセルの機能で「線」で地図を作成します ※一筆ずつ



# 一筆ごとに線を引きます



1 マウス「+」のマークで 線をなぞっていきましょう

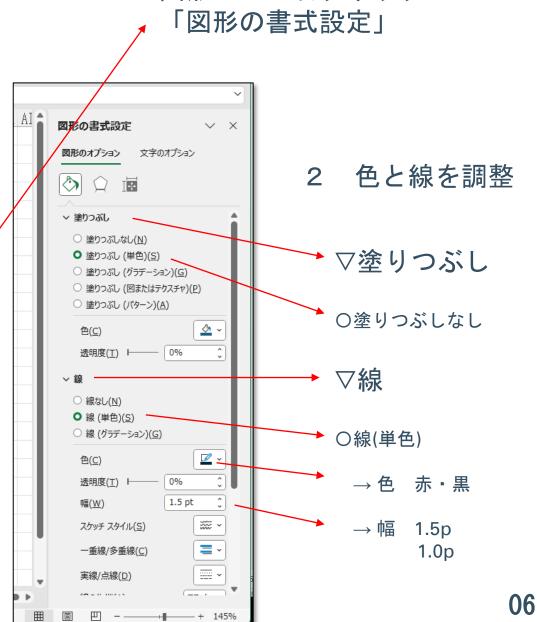


2 始点にもどると着色されます クリックで確定します

05

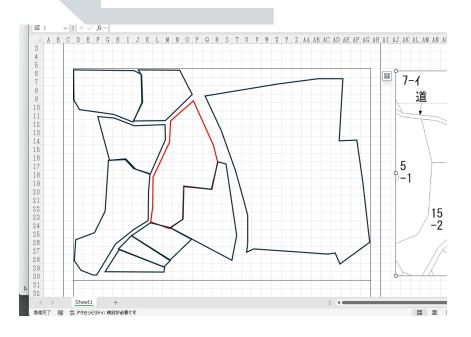
一筆の書式を設定します





図形の上で右クリック

#### 地図の線画に必要な情報を入れる

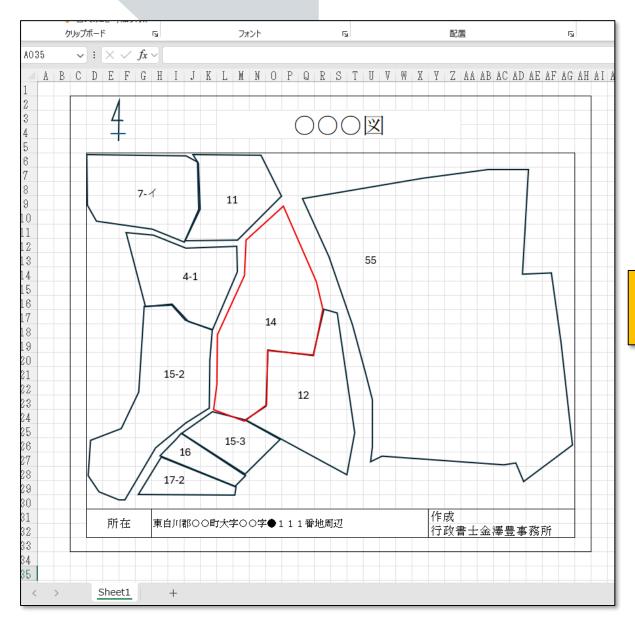


- 1 元の画像をずらして 線画のみにします
- 2 行と列を挿入して 地図に外枠を入れます

#### 3 「挿入」→「テキスト」→「テキストボックス」



### 地図の線画に必要な情報を入れる





この公図からの線データは 現況図・計画図等 様々な資料に利用できます

地図に情報を加える場合はシートをコピーしましょう



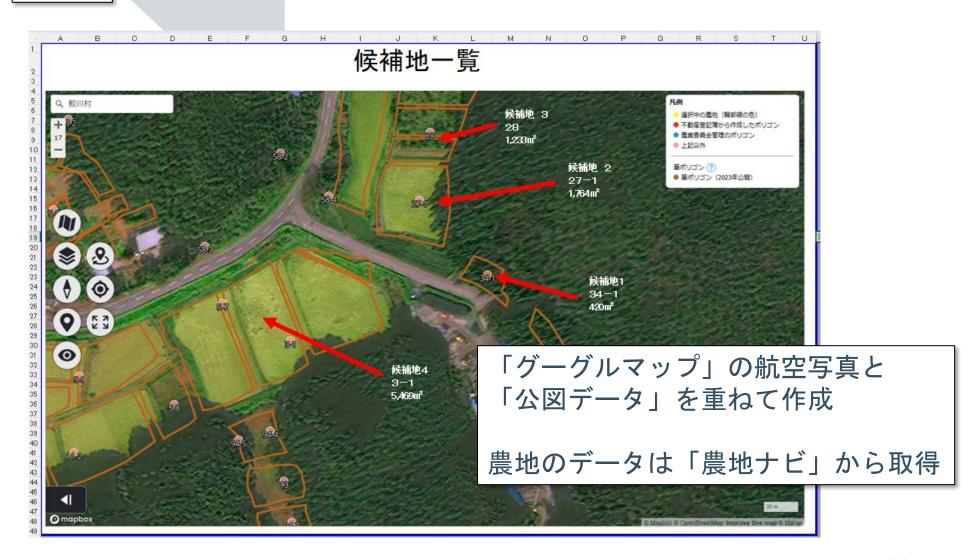
# 地図の線画に必要な情報を入れる

作成例



## 地図の線画に必要な情報を入れる

# 作成例



# 地図の線画に必要な情報を入れる

作成例

公図データを元に申請地を拡大 実寸に合わせて計画図を作成 ※ 申請地の寸法はを入れる

現状の写真を追加すると



# 作成例

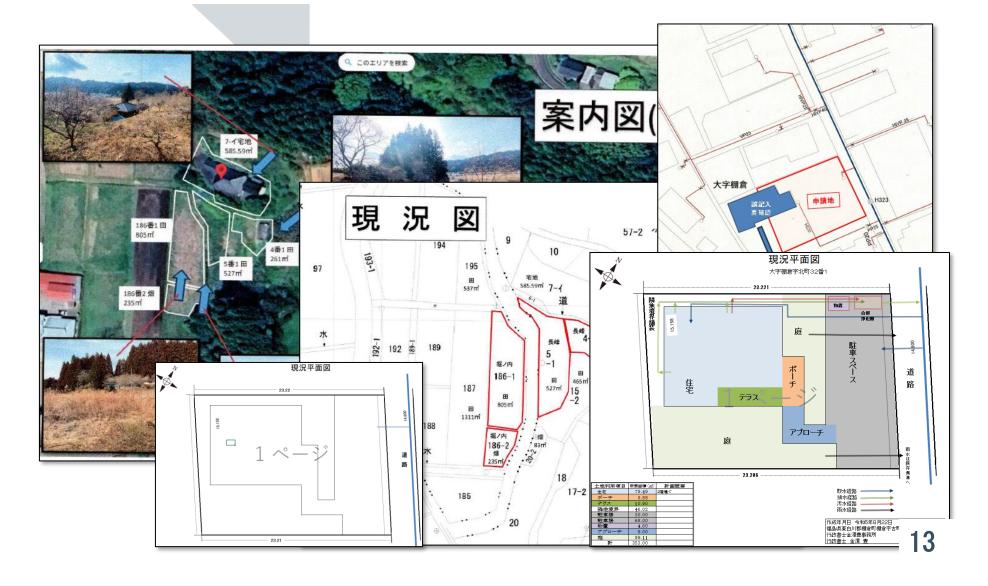
#### 位置図

公共施設などを起点に、どの場所に所在するかを表示します 目的地が離れている場合は、2枚に分けて拡大図を作成します



## 位置図などを利用して資料の作成

グーグルマップの**航空写真・農地ナビ・写真**と併用して 表示することで、わかりやすい地図の作成ができます



申請書などの様式は、パソコンで作成する仕様になっています 関係する添付書類も、同じファイル内で作成しデータ保存しましょう

県南支部では、 I T相談窓口を開設しています わからない部分などがあれば、お気軽にご相談ください ※ 作業の依頼の場合は、報酬が発生する場合があります

インターネットの地図やスマートフォンで撮影した画像などさまざまなデータを活用して、資料作成作業の時間を短縮しましょう

【パソコンを利用する一番のメリット】 作成したデータが残っているので

- ・修正依頼の対応が迅速にできます
- 使いまわしで資料作成が楽になります

